

# 共学「京都橘大」に

## 来春から 看護学部も新設

京都橘女子大(京都市山科区、大南正瑛学長は六日、二〇〇五年四月から男女共学に移行し、新たに看護学部(仮称)を設置する計画を発表した。京都の女子大が共学化に踏み切るのは初めて。

同女子大は現在、文学と文化政策の二学部があり、書道や異文化理解教

る委員会も開設した。大南学長は「『自立した女性の育成』という教学理念は、共学移行後も重視する。看護学部では高度な技術と人間を理解する能力を兼ね備えた看護師を育成したい」と話した。

育、女性史研究などを特徴としてきた。しかし、少子化と全国的に共学移行が進むなか、「抜本的な大学改革に共学化は不可避と判断した」(大南学長)という。大学名は「京都橘大学」とする。

新設の看護学部は定員八十人を予定。京都府内の私立大では初の設置と

なる。現キャンパスに専用校舎を建設するほか、実習先として府内の医療機関とも連携する。文系教育の蓄積を活用し、看護師に求められるコミュニケーション能力の育成にも力をいれる。

教育内容については、南裕子・日本看護協会長ら専門家から助言を受け